

果樹類の接木講習会資料

平成 30 年 3 月
JA 中野市園芸課

1. 接ぎ木種類

◆ 休眠枝を用いた切り接ぎと緑枝を用いた芽接ぎの 2 種類

◆ 実施時期

① 休眠枝接ぎ・・・3 月下旬～5 月上旬頃

② 芽接ぎ・・・8 月～9 月頃

2. 切り接ぎ方法について

① 穂木は 1～2 月頃採集し、乾燥しないようにして冷蔵庫か、地下室に入れて保管する。

② 接ぎ木の適期は、台木の樹液が流れ始める 3 月下旬～5 月上旬頃である。

③ 接ぎ木後は台木から発生する台芽を接ぎ木部を傷めないようにしながらかき取る。

④ 活着後は、新梢が 2 本以上伸長し競合する場合には 1 本に整理する。

⑤ 風などによって接ぎ木部から欠けたり、新梢が曲がったりすることがあるので、必要に応じ支柱を立てて新梢を結束する。

3. 準備資材

◆ エスロンテープ（@61 円） ⇒ 接ぎ木部の固定

◆ メデールテープ（@1,150 円） ⇒ 穂木及び切り口乾燥防止

◆ ビニールテープ（@210 円） ⇒ 接ぎ木部の固定

◆ 癒合剤（切り口乾燥防止）＊トップジン M ペースト等

◆ 接ぎ木ナイフ（@4,200 円）

上記の資材は、JA 購買窓口でお求め頂けます。よろしければご利用ください。



4. 手順とポイント

- ① 穂木に巻くメデールテープは、たるみがないようにしっかりと伸ばして巻くこと。たるみがあると、穂木が乾燥し、活着率が低下する。
- ② 良く切れる接ぎ木ナイフを使用し、穂木及び接ぎ木部の切り口は、凹凸にならないよう平らに（きれいに）切ること。順序は台木を削ってから穂木を削る。
- ③ 接着部分（切り口）がなるべく大きくなるようにする。切り口を大きくすることで形成層を合わせやすい。
- ④ 形成層は隙間なく、しっかり合わせること。片側だけでも良いので、確実に合わせるようにする。
- ⑤ 接着部分は、ビニールテープで隙間がないようにしっかりと固定する（3周位巻くが良い）。あまり長く巻きすぎないこと。
- ⑥ 穂木及び接ぎ木部の切り口は乾燥するので、メデールテープをかぶせるか、癒合剤（トップジンMペースト等）を塗布すること
- ⑦ 特に一挙更新を実施すると主枝上が日焼けになり易いので、農業用白ペンキやワラや肥料の空き袋を巻くと良い。

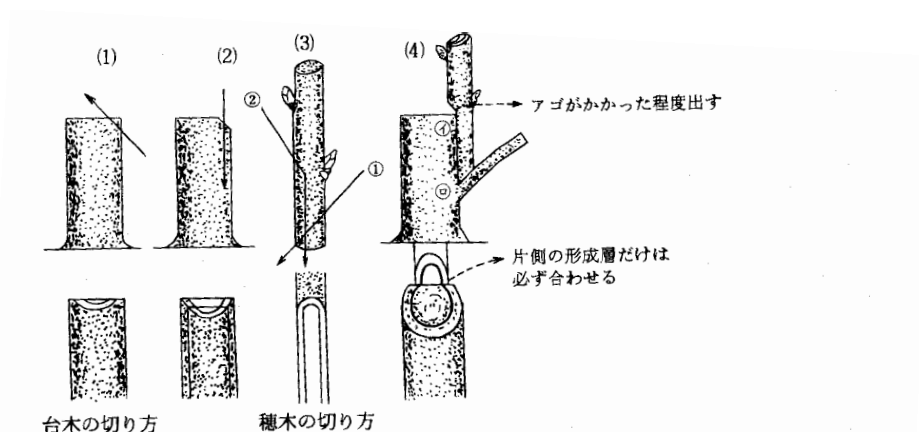


図4-1 切り接ぎの要領

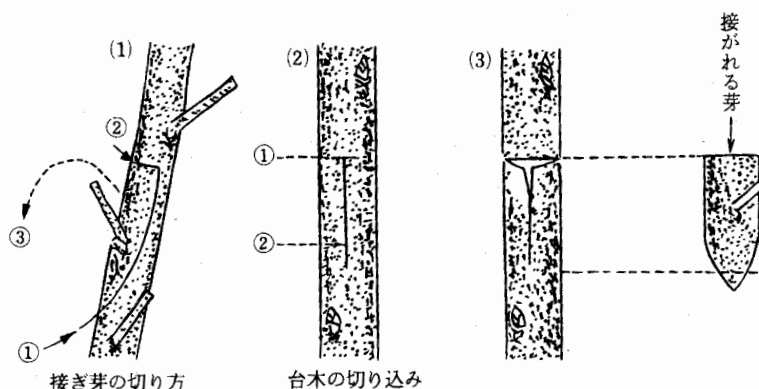


図4-2 芽接ぎ（穂芽接ぎ）の要領